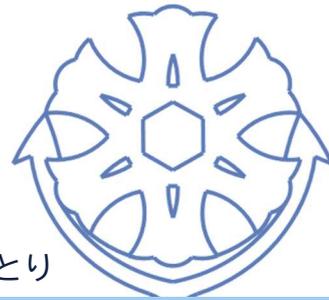


SSH だより



vol.6

令和5年9月12日発行

グローバルシンポジウムの在校生と卒業生のやりとり

探究の先に目指したいことやグローバルシンポジウムで学びたいこと

- 「探究」がよくわからないけれど、自分自身の内面や研究力の成長に繋がる考え方や方法を学び、新しい視点で物事を見ることができるようになりたい。
- 課題への追求、新たな研究への想像力、そして端的で明瞭なプレゼン力を身につけること。
- 先輩方や他の班の発表を見て、自分にはない発想を学ぶこと。
- 探究を通し未来をより良くしたい。

探究を前進・飛躍させる上で困っていること・壁にあたっていること

- 実験の結果からの考察が難しく、困っています。
- どんな切り口から新しく考えていけば良いかわからない、大学受験にどう繋がっていくかわからない、自分が一番好きではないテーマだからモチベーションが維持できない…
- 正確なデータがとれない。
- 研究の内容が大きすぎて、高校生レベルに落とし込むことに苦労している。
- 思ったような結果が出ない。

先輩に聞いてみたいこと・楽しみにしていること【任意】

- 部活などとの折り合い、どれくらいの時間を探究に使ったか
- 高校時代の探究(研究結果)に満足しているか
- 研究で苦労したこと、その解決策

本日の学び・気づき・感想・御礼

- 自分の好きなことを深くまで追求できるような人間になりたいと思った。
- 大学の研究や活動に高校での研究活動が活かされていたことがわかってよかったです。
- '好き'を貫くことそしてそれをやらなければいけないことも結びつけていくことも大切であると感じた。
- 現在、自分の好きな学問を突き詰めるということを念頭に置いて進学先について考えていたため、間違っていないんだ、と強い自信になった。
- 発表することがゴールではなく、研究成果を未来に託すことが肝要であるとしり、探究することがより楽しみになりました。
- プレゼンをする中で、聴衆の人たちに納得してもらえそうな方法を聞くことができて良かった。好きなものを追求することを行動に移せていることがすごいなと思った。

今後に向けた探究への意気込み

- 今やっている研究にもっと意欲を持ってみる。
- その時々を発表を終わらせることだけを考えるのではなく、その発表から得た学び、気づきを次に活かせるようにしていきたい。
- より深い知識を得て楽しんでいきたいです。
- やりたいことを明確にしてどんな形であれ将来につながる研究をしたい。
- 班の人たちと協力して、深い研究ができるように、自分の興味あることを見つけられるような探究活動にしたい。
- 自分の成果を他人に聞かせられるようにしたい！惹きつけたい！

先輩からのアドバイス（一部抜粋）

研究が好きではない場合は、日常生活で自分が好きなことや気になることを調べている時を思い出してみてください。今まで知らなかった情報を新たに知ることができたときは、面白いとか楽しいと感じるのではないのでしょうか。現代では検索すればインターネットが簡単に答えを教えてくださいますが、研究においては自分自身で新しい情報を見つけ出すことができます。誰もまだ知らないことを自分が最初に見つけて知ることができる可能性があると思うと、研究が少しは面白く感じるのではないのでしょうか。

発行元

新潟県立新潟南高等学校

新潟市中央区上所1丁目3番1号

TEL 025-247-3331 FAX 025-247-3489

<http://www.niigatami-h.nein.ed.jp/index.html>